

事業所名

放課後等デイサービス キッズMOMO

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

10 日

法人（事業所）理念		一隅を照らす”沢山の光が一人ひとりを照らす”諦めずに続ければ、やがて自ら輝きを放つ		
支援方針		興味のある遊びを通じた個別指導・小集団活動を行い、気持ちをコントロールする力（自己調整力）、コミュニケーションの力を育てます。また、安心して過ごせるよう、職員が温かく寄り添い、一人ひとりの強みを活かした支援を行います。		
営業時間		9 時 30 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	お子さんが安心して過ごせる場所を提供し、持ち物の管理、衣服の着脱やたたみ方、道具や遊具の用意と片づけなど、身辺自立に向けた支援を行います。また、必要に応じて、複数の部屋を使ったり、パーティションを用意し、お子さんが自分のことに集中しやすい環境作りをいたします。視覚化されたスケジュール表や時計（タイマー含む）を使って、わかりやすく伝えます。		
	運動・感覚	机上で課題に取り組む時間と、遊びのスペースで自由に過ごす時間を設けます。天気の良い日は鬼ごっこやかけっこ、縄跳びやシャボン玉など、体を思いっきり動かしたり、いろいろな道具を使う制作活動や、ひも通し、ひも結び、ボタンかけ、迷路、パズルなどで、視覚と手の動きを連携させる運動をしていきます。		
	認知・行動	お子さんに合わせた教材を使ったり、手作りの木工教材やクッキングを通して、数の操作、形、長さ、大きさ、量、方向、時間など日常生活において、知識として必要なことを楽しい体験から得られるよう支援していきます。また、利用時にはカレンダーにシールを貼ったり、活動の始まりや終わりの時間を知らせ、見通しを持って自ら行動することを支援します。必要に応じて、個々の感覚特性に配慮し、できるだけ視覚、聴覚刺激の少ない環境を作ります。		
	言語 コミュニケーション	自分の要求を伝える、手伝って欲しい時に求める、生活の中で場面に応じた適切な行動を發揮できるよう支援します。お子さんの特性やニーズに合わせて、絵カードや身振り、文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。また、文字で表現したり、文字を読んで理解する力へつなげていきます。集団遊びで「入れて」「貸して」と伝えたり、「いいよ」と応じたり、「あとで」と断るといった友だちとのやりとりができるよう関わっていきます。		
	人間関係 社会性	集団活動を通して、順番や交代がわかり、ルールを理解し守ったり、友だちと協力することや、失敗や負けを受け入れるといった、他者と生活するために必要なスキルが身につくような機会を作ります。また、異年齢との関わりや役割を持つことで、自己肯定感や達成感を味わうことができるよう支援します。		
家族支援		保護者の意向を確認した上で、支援計画をたて、支援の方向性について説明します。困りごとがあれば、児童発達支援管理責任者にいつでも相談できる環境を整えます。	移行支援	必要に応じて、学校との担当者会で支援方針について、情報共有します。地域の児童館を利用し、児童との交流を図ります。
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との情報共有 事業所連絡会、子ども連絡会への参加	職員の質の向上	定期的にケース検討会開催 外部研修への参加 虐待防止・身体拘束等適正化に関する研修、事故防止に関する研修、感染症に関する研修、災害に関する研修、キャリアパス研修
主な行事等		季節の行事、誕生会、クリスマス会、夏の水遊び 近隣施設、地域の体育館、児童館、公園への外出活動 クッキング、買い物活動等		